

大学院医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻  
修士課程学位論文申請について（2025 年 9 月修了予定者）

## 1. 提出書類

- (1) 学位論文審査申請書（1 部）  
※論文が英文の場合はタイトルの和訳を併記すること。  
※修士（ ）内は医科学演習、医科学実習を履修した者は「医科学」  
歯科学演習、歯科学実習を履修した者は「歯科学」  
口腔保健学演習、口腔保健学実習を履修した者は「口腔保健学」  
理工学演習、理工学実習を履修した者は「理学」又は「工学」、  
保健学演習、保健学実習を履修した者は「保健学」を記入する。
- (2) 履歴書（1 部）＋ word ファイル
- (3) 学位論文要旨（1 部）＋ word ファイル  
※タイトルが英文の場合は、和訳を併記すること  
※論文が英文の場合も和文で記載すること。  
※1000 字以内とする。  
※ただし、外国人留学生の場合は、英語での作成が可能でありその場合は、400word 程度とし、最も重要な研究結果について英語で 80word 程度又は日本語で 200 字程度の要約も記入すること。
- (4) 審査委員候補者記入表（1 部）  
※別添「主査・副査対象教員リスト」から選出してください。  
※審査委員候補者の選出に関しては、別添「(4) - 1 様式 4 審査委員候補者記入表」の注意書きを確認すること。
- (5) 公開論文審査希望日時調査票（1 部）  
※**理学・工学の学位を申請する場合は不要。ただし、理学・工学の学位を申請する場合であっても、審査委員候補者に本学医歯学系の教員や、連携大学院分野以外の外部機関の教員を含む場合には、要提出。**
- (6) 学位記記載事項の確認について（1 部）＋ word ファイル
- (7) 確認書（1 部）
- (8) 進路届（Microsoft Forms から回答）
- (9) 学位論文（単独の著作 1 編）（1 部）＋ PDF ファイル（word ファイルでも可）
- (10) 学位申請論文の確認について（1 部）

各様式については、次のアドレスからダウンロードして下さい。

[http://www.tmd.ac.jp/for-students/16\\_4e0135b7e86ee/index.html](http://www.tmd.ac.jp/for-students/16_4e0135b7e86ee/index.html)

参考：「本学HP」→「在学生の方へ」→「学位の申請について」→「学位申請書類」

※各提出書類に記載する論文題名は統一すること。

（学位論文審査申請書提出後の論文題名の変更については、「(10) 学位申請論文の確認について」にチェックがある場合に限り変更を認める。）

## 2. 提出先

・教務課湯島学位審査グループ（1 号館西 1 階）（内線 5074・5075）

E-mail：[grad.doctor\\_med.adm@tmd.ac.jp](mailto:grad.doctor_med.adm@tmd.ac.jp)

※提出した学位論文等の再提出・差し替えは原則として認めない。

※電子ファイルについては、CD-R、USB に保存の上、打ち出し原稿と一緒に提出するか、メールに添付して提出すること。

### 3. 提出期間

- (1)～(8) 2025年 6月9日(月)～6月13日(金) 午後5時まで  
(9)、(10) 2025年 7月15日(火)～7月17日(木) 午後5時まで

### 4. 公開論文審査期間

2025年 7月31日(木)～8月1日(金)

(審査委員、発表日時は、上記提出書類(4)審査委員候補者名簿並びに(5)公開論文審査希望日時調査票に基づき調整の上、7月中旬に通知する。)

### 5. 学位授与について

2025年9月開催予定の医学系研究科運営委員会、生命理工医療科学研究科運営委員会の合否判定において、合格と判定された者について、2025年9月22日(月)に開催予定の学位記授与式で、学位記を授与する。

### 6. 注意事項

#### ○研究活動の不正行為について

論文の作成にあたっては『国立大学法人東京医科歯科大学における研究活動に係る行動規範』を遵守し、ねつ造、改ざん、盗用などの不正行為を為さず、加担しないこと。

**ねつ造** : 存在しないデータ、研究結果等を作成すること。

**改ざん** : 研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること。

**盗用** : 他の研究者のアイディア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用すること。

【参考】国立大学法人東京医科歯科大学における研究活動に係る行動規範

(<http://www.tmd.ac.jp/tmd-research/artis-cms/cms-files/20141028-085628-7953.pdf>)

#### ○『(7)確認書』について

学位申請論文に関する研究が以下の【対象となる研究】を含んでいる場合には、あらかじめそれぞれに該当する委員会等において承認を受けて実施した研究であることが確認できない場合、提出された論文は学位申請論文として認められない。また、学位論文で用いた研究について、該当する委員会等への申請書類に原則として、学位申請者の氏名が従事者として記載されている必要がある(※自身が直接実施した研究については必須とする)。本学における研究者の行動規範に重大な違反があった場合は、処罰の対象となる。

#### 【対象となる研究】

- ① 遺伝子組み換え実験
- ② 動物実験
- ③ 病態微生物等利用実験
- ④ 特定病原体等利用実験
- ⑤ ヒトES細胞を用いる研究
- ⑥ ヒトiPS細胞を用いる研究
- ⑦ ヒトゲノム遺伝子解析研究
- ⑧ ヒト(もしくはヒト由来検体・情報(臨床情報を含む)等)を対象とする研究(疫学研究含む)
- ⑨ 再生医療等提供計画(第1種から第3種)
- ⑩ 利益相反自己申告書の提出要件

○『(9) 学位論文』について

既発表論文の内容、実験データ、図等を学位論文作成に用いる際には以下の点について注意すること。

(1) 学位申請者が行った部分と、そうでない部分が明確に区別できるようにすること。

(2) 図に関しては著作権の関係上、申請者本人あるいは研究グループによる論文の場合でも出版社の再掲許可が必要となることがある。

再掲許可を得る事が難しい場合については、必ず図の編集を行うこと。